



太鼓の音に合わせて苗を植える
早乙女姿の生徒たち 愛西市で

水面に映る 早乙女装束

愛西でお田植祭

津島神社(津島市)の「お田植祭」が30日、愛西市の水田で行われ、地元の清林館高校の女子生徒たちが早乙女姿で苗を植えた。



お田植祭の動画が見られるQRコード

津島神社の神事に使う米を育てる儀式。一時、途絶えていたが、水田の寄進を受けるなど、1998年に復活した。この日は、男女17人の生徒が神社本殿の奉告祭に臨んだ後、神田に使っている水田に移動した。

花がさをかぶり、鮮やかな色の装束をまとった女子

生徒たちは、神職が打つ太鼓の音に合わせて県のブランド米「あいちのかおり」の苗を植えた。白装束の男子生徒も手伝った。昨年が続いて2回目の参加となった同校3年の六浦綾花さんは「スムーズに作業を行うことができた。米のありがたさや農家への感謝の気持ちをあらためて感じた」とほっとした様子で話した。

(吉田幸雄)